

在日ビルマ難民がカメラをとおして向きあった、
タイービルマ国境難民キャンプの子どもたち

山口初上映!!

ドキュメンタリー映画

ピュア 希望の鐘

上映会&監督 ココラット氏 (在日ビルマ難民) トーク

難民キャンプの暮らし

難民キャンプの学校

そして、子どもたちの想い——



場所：山口市市民活動支援センター さぼらんて 山口市道場門前1-2-19 Tel 083-901-1166

日時：2011年7月23日(土)14:00~16:00 開場13:30

上映時間63分・上映後、制作者ココラットさんのトーク / 入場料：500円

主催/問合せ：アムネスティ・インターナショナル日本・山口グループ

Tel 080-1792-8542 (福田) / Mail f.michiko1979@gmail.com

★専用駐車場はありません。公共交通機関か近辺の駐車場をご利用ください。/★小学生以下は入場無料です。



ビルマ問題って？

ビルマでは1962年3月2日に軍がクーデターによって政権を奪って以来、国民は基本的人権である言論の自由、政治への参加権、様々な市民権を奪われています。国名も、軍事政権の政治的意図から1989年にミャンマー連邦に変更されました。昨年総選挙が行われ、今年に入って議会が招集されましたが、民主化は見せかけに過ぎず、ビルマの人々の苦しみは続いています。

昨年11月には、国民民主連盟（NLD）の書記長で民主化運動のリーダーであるアウンサンスーチーさんが三度目の拘束からようやく解放されました。しかし、不法に逮捕・投獄されている政治囚は2100人を超え、これまでに147名の政治囚が軍事政権の拷問によって監獄の中で死亡しました。

軍事政権が医療・教育にあてた額はGDPの僅か0.27%（2002年）。一方、軍事費にはGDPの約50%を使い、軍事力はますます強大になっています。ビルマの人々が置かれている状況は未だ深刻です。（SCDBのHPより）

難民キャンプの子ども達を映画に

こうした軍事政権の迫害を逃れて、およそ30万人の学生や市民がビルマとタイの国境へ逃れたほか、100万人以上が母国を離れ、世界各地に散らばっています。

民主化活動家で、自身も難民であるココラットさんは、タイとビルマの国境地帯のメラウン難民キャンプを訪れ、子ども達の姿を

ほんとうのビルマを

知ってください

カメラにおさめ、映画『ピュア』を制作されました。現在、各地で上映されています。

このたび、山口で初めての上映を行うことになりました。映画をとおして、子ども達の眼差しや声にふれていただきたいと思います。上映後は作者のココラットさんに直接お話を伺います。貴重な機会です。是非、足をお運びください。

日本の市民へのメッセージ

ココラットさんは、この度の震災と原発事故を受けて、以下のメッセージを発表されました。日本とビルマの市民が、これから心を合わせていけたらと主催者も願っています。

東北地方太平洋沖地震で被災された皆さまとご家族の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。私たちビルマ人も、自分たちのことのように感じて、痛み悲しんでいます。一日も早く、平穏な生活に戻れるよう、皆で心からお祈りしています。

故郷を追われ、自ら望んだのではない場所で暮らす人たちが、世界にはたくさんいます。そのような人々が、一日でも早く、自分たちの故郷へ帰れること、これが私の心からの願いです。

大きな災害に遭っても、自分たちの故郷、地域、町を復興するために励んでいる日本の皆さまの姿を見るとき、私の心は熱くなります。そして、核被害を思うとき、ビルマを思うとき、心が痛みます。世界の人々が、平和に、希望をもって暮らせることを、心より願っています。
ココラット



ゲスト・『ピュア』監督ココラットさん／ビルマ民主化支援会（SCDB）代表。元全ビルマ高校生連盟書記長。1988年より民主化運動に関わったが、90年に逮捕。釈放後も監視下に置かれたため、タイを経て来日。未だに帰国は困難で、家族に連絡もとれないでいる。日本で2001年に難民認定され、現在は講演などをおして民主化運動を続けている。愛知県一宮市在住・41歳。

★『ピュア 希望の鐘』 音声 ビルマ語・日本語／字幕 日本語／63分／企画・撮影 ココラット
／制作 SCDB（ビルマ民主化支援会） e-mail info@scdb.org 〒460-8691名古屋中郵便局P.O.Box174
SCDBのHPで『ピュア 希望の鐘』の予告編をご覧ください。 <http://www.scdb.org>